

【必要な資格】 刈払機取扱作業者・ロープ高所作業特別教育・伐木の業務に関わる特別教育・高所作業車運転技能講習・フルハーネス特別教育

	内 容	留 意 事 項
準備工	<ul style="list-style-type: none"> 作業打合わせ(KY活動) 作業位置の確認 作業人員の確認 使用機械・工具の点検 保護具の確認 	<ul style="list-style-type: none"> リスクアセスメントによる危険予知の実施 発生車搬入場所の確認も行う 作業分担・配置の確認 資格の確認 ※作業責任者が任命する。 車両運行前・使用機械安全装置の点検確認 保護具の損傷がないか点検を行う。(使用機械別保護具を参照) 駐車車両及び家屋に損傷等を与えおそれがある場合飛散ネットの使用で作業を行う 手持ちネットの損傷確認、損傷のある場合は補修を行うが使用できない場合は担当者へ報告をする 現場出入り箇所の確認(開口部の確認、アルミトラック用)ステップ、ロープの用意) 近くにフェンス開口部がある箇所は開口部より出入りをする フェンス開口部が近くにない場合は、アルミトラック用)ステップを立ち入り防止柵にしっかりと固定して乗り越える Co擁壁、ブロック積、勾配のきつい箇所へは乗り越え箇所を設けない、平坦な箇所を選定する ヘッドとシャフトの連結部などは作業前に必ず工具を使用してゆるみの無いことを確認すること 作業前に安全靴の選定をする。(土踏まず部分の切欠きされた安全靴は使用しない) 作業前に道路を確認しておく。
作業開始	<ul style="list-style-type: none"> 側道部沿線に駐車してある車両・家屋の把握 飛散ネットの点検 現場出入りの確認 現場進入 	<ul style="list-style-type: none"> 年間ケーブル協議書に準じてケーブル防護を行い作業を行う(年間協議書参照) ケーブルの周りをカマ等人力で刈取(直径2m程度)目印つける 刈り手にケーブル場所の説明を行う 危険物(ゴミなど)は前もって除去する ゴミ等は指定された仮置き場に集積する
ケーブル確認 危険物の除去	<ul style="list-style-type: none"> 現場到着後、リスクアセスメントによる現場KYの実施 ケーブル露出箇所の確認 危険物(ゴミ等)の除去 	<ul style="list-style-type: none"> 保護具は使用機械別使用保護具を参照 本線にて遮音壁のツタ除去作業を行うときはトリマー式刈払機を使用する 切り株のない道路が確保できる場合はそちらを通路として、切り株のある場所は通路として使用しない。 SDS(安全データシート)の確認 作業前にハチの巣および周囲の確認を行う。 架空線のある場合は管理者と協議を行う 刈り手、寄せ手の作業間隔充分開ける(5m程度) 手持ちネットからはみ出している刈り込みの禁止 のり面等急勾配等で作業するので足元確認 作業前にハチの巣および周囲の確認を行う。 上下作業の禁止 高さ2m以上、40度以上の斜面における作業は身体保持器具を使用する。(フルハーネス・親綱) バケットへは2名乗車で作業を行う(40m高所作業車はオベ含み3名乗車) 高所作業車およびクレーン作業は風速10m以上で作業中止とする(風速計を所持する) 移動時はブームおよびアウトリガーを格納してから行うこと バケット乗車補助作業はキックバックしても安全な位置で行う 協力会社持ち込みトリマーに関しては協議をその都度行ってから作業を行う ポールヘッドトリマーを使用する。(刈払用トリマー・羊式トリマーでも可) カマ・ナタ使用作業時の作業間隔を十分に開ける(3m以上) 作業機械に異物が挟まった場合はエンジンを停止してから取り除くこと トリマー式刈払機使用時はキックバックに注意する。
刈込み及び草集め	<ul style="list-style-type: none"> 法面の草を刈り払い機にて刈り込む 遮音壁コンクリート板からツタを除去する 遮音壁吸音板からツタを除去する 高所作業車を使用してツタ除去を行う 遮音壁から除去したツル・刈草の集草 	<ul style="list-style-type: none"> 保護具は使用機械別使用保護具を参照 本線にて遮音壁のツタ除去作業を行うときはトリマー式刈払機を使用する 切り株のない道路が確保できる場合はそちらを通路として、切り株のある場所は通路として使用しない。 SDS(安全データシート)の確認 作業前にハチの巣および周囲の確認を行う。 架空線のある場合は管理者と協議を行う 刈り手、寄せ手の作業間隔充分開ける(5m程度) 手持ちネットからはみ出している刈り込みの禁止 のり面等急勾配等で作業するので足元確認 作業前にハチの巣および周囲の確認を行う。 上下作業の禁止 高さ2m以上、40度以上の斜面における作業は身体保持器具を使用する。(フルハーネス・親綱) バケットへは2名乗車で作業を行う(40m高所作業車はオベ含み3名乗車) 高所作業車およびクレーン作業は風速10m以上で作業中止とする(風速計を所持する) 移動時はブームおよびアウトリガーを格納してから行うこと バケット乗車補助作業はキックバックしても安全な位置で行う 協力会社持ち込みトリマーに関しては協議をその都度行ってから作業を行う ポールヘッドトリマーを使用する。(刈払用トリマー・羊式トリマーでも可) カマ・ナタ使用作業時の作業間隔を十分に開ける(3m以上) 作業機械に異物が挟まった場合はエンジンを停止してから取り除くこと トリマー式刈払機使用時はキックバックに注意する。
積み込み	<ul style="list-style-type: none"> バックカー車及びトラックに積み込み 	<ul style="list-style-type: none"> 車両は安全場所に駐車する バックカー車積み込み作業手順書による
仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> 排水構内、積み込み箇所の清掃 	<ul style="list-style-type: none"> 排水溝内に向けた草はないか、積み込後の草は散乱してないか確認する
草運搬	<ul style="list-style-type: none"> 指定された処分場に運搬する 	<ul style="list-style-type: none"> 一般道を回送するので法定速度十分注意(交通規則の遵守) トラックの積荷確認、バックカー車のゲートロック確認確實実行
後片付け	<ul style="list-style-type: none"> 作業現場の確認・点検 終礼の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の車両及び家屋の確認 使用機械の置き忘れ等の確認 リスクアセスメントによる危険予知訓練により実施

※現場で作業手順を変更する場合は作業を中止し作業責任者からメンテ名古屋担当者に報告・相談すること

注意事項

- 発生草は指定された場所以外の搬入禁止
- ケーブル露出箇所、刈り払い機使用禁止(絶対切断してはならない)
- 刈り手は使用機会別使用保護具に準じて作業を行う
- 夏期ハチ注意(殺虫剤の携帯)・蛇注意
- 役職者で定期的に現場を巡回し、出来型・安全管理等のチェックを行う。(H15.12是正で追加)
- 監視員を配置し通行車両の通行時は作業員に知らせ作業を中断する。
- 保護具は使用機械別使用保護具を参照
- 手持ち式振動工具については取扱を十分理解し使用する。
- 1人作業の禁止
- 有資格者により作業を行う。(資格証を所持する)

安全器具・保護具確認
ヘルメット・安全チョッキ
殺虫剤・ボイゾンリムバー・熱中症グッズ・涼しめ帽
使用機械別使用保護具を参照
【ケーブル事故防止対策】コンパネ・シュート
「蟻抗体検査レベル3以上」の方:エビペン

使用機械
ノコギリ・カマ・ナタ・刈り払い機・トリマー式刈り払い機